

令和4年度 日南市入札監視委員会（第1回） 議事概要

開催日時及び場所	令和4年7月7日（木）13時30分～16時30分 宮崎県自治会館 2階会議室
出席委員氏名 （順不同・敬称略）	楠 茂 樹（上智大学法学部 教授） 松 岡 孝 浩（松岡孝浩法律事務所 弁護士） 海 野 理 香（税理士法人ア化パートナーズ 代表社員税理士） 井 手 真 弓（社会保険労務士法人 ALX 特定社会保険労務士）
出席関係者氏名 ※リモート対応含む	＜説明者等＞ 荒 木 稔 浩（建設部 建設課 建設係 課長補佐兼係長） 久 嶋 誠（建設部 建設課 保全係 副主幹） 河 野 友 哉（建設部 下水道課 工務係 副主幹） 福 田 浩 一（建設部 下水道課 工務係 主任技師） 小 林 勇 介（建設部 下水道課 施設係 主任技師） 倉 田 博 文（総合政策部 財政課長） 阿 部 啓 行（総合政策部 財政課 課長補佐兼係長） 福 元 正 樹（総合政策部 財政課 主査） ＜事務局＞ 仲 衛 正 訓（総合政策部 総務課長） 釋迦郡 崇 吉（総合政策部 総務課 課長補佐兼係長） 田 中 宏 幸（総合政策部 総務課 副主幹）
議事概要	1 開会 2 あいさつ ・日南市入札監視委員会 楠委員長 【ここから非公開】 3 審議 (1) 令和3年度下半期公共工事における抽出案件の審査について ① 抽出委員から抽出理由の説明 ・井手委員が186件ある工事の中から抽出した6件について、その理由を説明 ② 市担当者等から抽出案件の説明（リモート対応等） ・入札監視委員会を開催した自治会館（宮崎市）と日南市役所をオンラインで繋ぎ、抽出した6件について、事業の各工事担当者及び契約係からの説明並びに質疑応答（それぞれ、説明と質疑応答合わせて20分程度） ③ 総括 ・説明等を受けた6件について、総合的に評価 ・今回、市に対しての要望等はなし

	④ 次回抽出委員の選定 ・次回令和4年度上半期分の抽出委員に、海野委員を選定 ⑤ その他 ・なし (2) 入札制度改革等に係る取組について ・これまでの取組内容等について、財政課契約係より説明 (3) その他 ・なし 4 その他 ・なし 5 閉会 ※閉会后、楠委員長による取材対応あり
委員会意見の内容要旨	【審査案件1】 ・辞退が多いケースについて、対応の必要がある。 ・工事発注量の多さに対し供給が合っていないという状況への対応の必要性 ・電子入札における辞退理由等の確認ができる仕組みの構築について、検討の余地がある。 ・入札監視委員会での検証に支障をきたすため、辞退理由を探ることを検討されたい。 【審査案件2】 ・業者側の事情をふまえたものになっており、特になし ・緊急随契の合理性が確認できた。 【審査案件3】 ・見積りをとることの合理性の見極めが求められ、今回のケースは適切な対応であると思われる。 【審査案件4】 ・結果大きなトラブルになっていないが、資格審査の厳格化の重要性を痛感した。 ・事前確認について、改善後も徹底をお願いします。 【審査案件5】 ・辞退が多いことは気になるが、予算枠の余剰分での契約変更については、適正な手順を経ており、経済合理性があると考ええる。 ・しかしながら、変更契約においては落札率をかけているとするが、

		追加工事分だけ単価が高いように感じる。変更契約を見越したものと疑われかねない。 【審査案件 6】 ・ 辞退理由の精査が重要である。 ・ 競争性確保の観点から、予定価格超の入札行動については監視項目とすべきであると感じた。 ・ 一方で、建築資材等の高騰、品不足等は、応札する事業者側では死活問題でもあり、予定価格の見直し（時点修正）など、入札制度全体の問題として考える必要がある。 【その他】 ・ 全体として、一般競争入札適用範囲拡大、電子入札制度の導入など、積極的に取り組まれており評価できる。引き続き、継続的な改善の後押しをしていく。	
公共事業審議対象期間		令和 3 年 10 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	
公共事業抽出案件		総件数 6 件	(備考)
内 訳	一般競争入札	1 件	対象件数 186 件
	指名競争入札	3 件	
	随意契約	2 件	
委員からの意見・質問と それに対する回答等 ※主なもの		意見・質問	回答等
		非 公 表	
その他		なし	